

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) Easy-to-answer web-based questions with considerable explanatory power to predict EFL-learners' basic skills, 12th International Conference on Information Technology 《筆頭論文》	共著	2013年 10月	The <i>IASTED</i> 12th International Conference on Information Technology Based Higher Education and Training	担当部分：研究デザイン、調査の実施、論文執筆、代表(Atsuko Kuramoto, Toru Ochi) 平成23年から科研研究グループで開発したコンピュータによる英文理解テストおよび学習者の心理アンケート調査により収集したデータを質的に分析した経緯や結果を示したものである。学習者の語彙知識レベル、自身の学習戦略に関する意識の程度差が英文理解度に影響が現れていることを報告した。
2 (学術論文) What advice is proper for EFL students to improve their comprehension levels? 《筆頭論文》	共著	2012年 10月	<i>E-Learn</i> 2012 World Conference on E-Learning in Corporate, Government, Healthcare, and Higher Education 2012	担当部分：研究デザイン、調査の実施、論文執筆、代表(Atsuko Kuramoto, Toru Ochi, Harumi Nishida, Chie Tsuru) 苧坂・苧坂によるJ-RST(日本語リーディングスケール)が英語理解力と相関があるとの先行研究を踏まえ、新たにコンピュータによる英文理解テストを開発し、学習者の取り組みに関する心理面でのアンケート調査および半構造化面接を行うことで、質的研究を行ったものである。その結果、コンピュータテスト実施と同時にオンラインで行うアンケート調査内容の分析をテスト得点と並行して分析することでより有用な個別のアドバイスができることが判明した。
3 (学術論文) The impact of the WBT use for EFL learners' self-fulfillment: a challenge for a waveform viewer using digital tablet 《筆頭論文》	共著	2011年 10月	<i>E-Learn</i> 2011-World Conference on E-Learning in Corporate, Government, Healthcare, and Higher Education	EFL 学習者における WBT の活用に関し、AMOS により分析したもの。初級レベルの学習者において、シャドーイング訓練に活用すると、音声知覚の改善に WBT 環境が有意に影響を与えるとの結論からデジタルタブレットによる英語聴解学習のプログラムの開発を報告。(Atsuko Kuramoto, Toru Ochi, Harumi Nishida, Yukari Isobe)
4 (学術論文)WBT 利用シャドーイング指導効果の検証—音声知覚および英語理解力への影響 《筆頭論文》	共著	2010年6月	<i>Language Education &amp; Technology</i> 第47号	聴解の前段階で必須とされるのみならず、読解に至る段階にも関わる可能性が示されている音声知覚力を改善する SH 指導に焦点を当て、WBT という教室学習環境が、音声知覚力やその上位の認知処理である読解力や聴解力にどのような影響を与えるかを調査研究した。19頁(倉本充子, 西田晴美, 磯辺ゆかり, 氏木道人) 担当部分：研究計画・実施、論文執筆全頁
5 (学術論文)A facilitating role of SNS materials for Japanese EFL students at Department of Pharmaceutical Sciences 《筆頭論文》	共著	2010年3月	<i>The IASTED International Conference on Web-based Education Proceedings</i>	実社会における英語での言語運用力養成や学部特有の専門英語を習得させることを第一義とする英語学習支援システムの研究開発である。専門分野で使用する言語特徴を含む現場から切り取ったビデオ教材を SNS 方式で使用し、その効果をログデータを状況論の観点から分析し、検証した。6頁(Kuramoto, A.; Ochi, T.; Tsukamoto, T.; Yamaguchi, M.) 担当部分：研究計画・実施、論文執筆全頁